資料３－５

令和７年度芝浦港南地区高齢者相談センター

事業評価チェックシート

【事業計画・報告に掲げる大項目】

１　設置目的達成に向けた取組

２　介護予防ケアマネジメント

３　総合相談支援

４　権利擁護業務

５　包括的・継続的ケアマネジメント

６　その他の事業

７　運営体制

○このチェックシートは、高齢者相談センター（地域包括支援センター）が、センターの基本的な業務について、センターがセルフチェックすることで日常的に業務の実施状況を点検するとともに、年度末における点検結果を地域包括支援センター運営協議会における事業評価に反映するものです。

○高齢者相談センターは、各チェック項目ごとの実施状況に応じた選択肢を記入してください。

ａ：適切にできている
ｂ：概ねできている
ｃ：できていない（実施していない）

○評価欄は、事務局がチェックシート等を元にした各センターへのヒアリングを実施後、記入します。
（Ｓ、Ａ、Ｂ、Ｃの４段階評価）

※事業評価チェックシートの評価は、事業評価コメントシート（様式２）における評価のベースとします。

港　　区

令和７年度芝浦港南地区高齢者相談センター事業評価チェックシート

チェック項目		高齢者相談センター記入欄		事務局記入欄
１．設置目的達成に向けた取組		（選択肢）	記入欄	評　価
地域の特性に合わせた現状分析・課題分析が適切に行なわれている		a ・ b ・ c	a	A
当初の計画に沿って取組みが実施されている		a ・ b ・ c	a	
当該年度の業務における課題が明らかになっている		a ・ b ・ c	a	
職員全員が課題の内容を理解し、一丸となって取り組んでいる		a ・ b ・ c	a	

２．介護予防ケアマネジメント		（選択肢）	記入欄	評　価
要支援１・２	利用者に十分な説明を行い、適切なアセスメントに基づいたケアプランの作成が行われている	a ・ b ・ c	a	A
	必要なモニタリングと評価ができている	a ・ b ・ c	a	
	ケアプランの質を向上させる体制を整備し、職員の実務にいかせる取組みを行っている	a ・ b ・ c	a	
	介護予防支援業務における利用サービス事業所及び委託する居宅介護支援事業所の選定は適切に行っている	a ・ b ・ c	a	
	委託した介護予防サービス計画の内容を確認し、適宜、委託先の居宅介護支援事業所の支援を行っている	a ・ b ・ c	a	
介護予防	対象者の状態を的確に把握し、適切なケアマネジメントの目標設定ができている	a ・ b ・ c	a	
	事業実施者と連携し、適切なモニタリングや評価ができている	a ・ b ・ c	a	
	評価が困難な事例等について情報収集・共有し、ケアマネジメントを行っている	a ・ b ・ c	a	
	介護予防の必要性など、普及啓発を日常的に行っている	a ・ b ・ c	a	

3．総合相談支援	（選択肢）	記入欄	評　価
高齢者のあらゆる相談を受け入れられる体制が整っている	a ・ b ・ c	a	A
個別訪問等により、地域の高齢者の状況把握を行っている	a ・ b ・ c	a	
困難事例の対応への手続きや流れを職員全員が理解し適切に対応できる	a ・ b ・ c	a	
地域の社会資源やニーズを把握し、地域のネットワーク構築を行っている	a ・ b ・ c	a	

4．権利擁護業務	（選択肢）	記入欄	評　価
成年後見制度等の利用への支援・啓発を行っている	a ・ b ・ c	a	A
高齢者虐待の通報に対し、適切に対応している	a ・ b ・ c	a	
高齢者の消費生活被害の防止に関する啓発等を行っている	a ・ b ・ c	a	

5．包括的・継続的ケアマネジメント	（選択肢）	記入欄	評　価
包括的・継続的ケアマネジメントの体制を構築し、関係機関と連携して対応している	a ・ b ・ c	a	A
地区内の介護支援専門員（居宅介護支援事業所）を把握し、ネットワークの構築を図っている	a ・ b ・ c	a	
介護支援専門員を対象とした研修や事例検討会を実施するなど、支援体制を構築している	a ・ b ・ c	a	

6．その他の事業	（選択肢）	記入欄	評　価
介護予防普及啓発事業を実施している	a ・ b ・ c	a	S
認知症サポーター養成講座を実施している	a ・ b ・ c	a	
港区独自事業の実施にあたっては、関係部署と連携して実施している	a ・ b ・ c	a	
港区が実施する事業等へ、関係機関と連携して実施している	a ・ b ・ c	a	
認知症予防の啓発及び認知症高齢者への対応を行っている	a ・ b ・ c	a	

7．運営体制		（選択肢）	記入欄	評　価
配置人員	地域包括支援センターとして、専門職種が適正に配置されている	a ・ b ・ c	a	A
	指定介護予防支援事業所として、専門職種が適正に配置されている	a ・ b ・ c	a	
体制	各職種の専門性を活かした、チームアプローチの体制ができている	a ・ b ・ c	a	
	センター長及び管理者が日頃の業務内容を網羅的に把握している	a ・ b ・ c	a	
	センター長及び管理者が業務評価（セルフモニタリング）を定期的に行っている	a ・ b ・ c	a	
	センター内での会議、ミーティング等を通じて職員間の情報の共有ができている	a ・ b ・ c	a	
	職員がセンターの設置目的、区立施設（指定管理制度）であることを正しく理解している	a ・ b ・ c	a	
	職員の研修履歴や年間の研修計画を作成するなど、職員が計画的に研修参加できるよう配慮している	a ・ b ・ c	a	
	日常業務における課題や反省点等を共有し、センター業務の改善につなげている	a ・ b ・ c	a	
	緊急時対応マニュアル等を整備し、緊急時に迅速かつ的確な対応が行える体制を整備している	a ・ b ・ c	a	
	災害時対応マニュアル等を整備し、災害時に迅速かつ的確な対応が行える体制を整備している	a ・ b ・ c	a	
	震災等の発生を想定した「業務継続計画」を策定している	a ・ b ・ c	a	
	苦情解決についてのマニュアル等を整備し、的確な苦情対応が行える体制を整備している	a ・ b ・ c	a	
	職員が個人情報保護に関係する法令等を理解し、遵守している	a ・ b ・ c	a	
	相談時に相談者のプライバシーを確保している	a ・ b ・ c	a	
	特定の団体等に有利又は不利にならないよう、中立かつ公平な運営がなされている	a ・ b ・ c	a	
施設運営	物品管理責任者を定め、区から貸与されている備品を把握し、適切に管理している	a ・ b ・ c	a	
	施設及び付帯設備を常に良好な状態で維持及び保全並びに保守管理を行っている	a ・ b ・ c	a	
	水道、電気等の使用について、エネルギー使用量を把握し、施設の省エネルギー化に取り組んでいる	a ・ b ・ c	a	
	指定管理料や利用料金等、日常から適切な会計処理が行なわれている	a ・ b ・ c	a	
	指定管理業務の経費にかかる関係書類を適切に保管している	a ・ b ・ c	a	
	労働関係法令や就業規則に則り適切な運営が行なわれている	a ・ b ・ c	a	

令和７年度芝浦港南地区高齢者相談センター　事業評価コメントシート

高齢者相談センター記入欄				運営協議会　記入欄	
項 目		（１）今年度の取組のプロセスについて、良かった点や工夫した点等を記入してください。	（２）次年度への課題を記入してください。	評　価	コメント
1	設置目的達成に対する取組	・事業計画に記載した事業を着実に実施できるよう、年度当初に実施時期を決定し、計画的に実施しました。 ・地区地域ケア会議を4回開催し、具体的事例を通じて地域課題の把握・共有を図りました。うち1回は「台場在住高齢者の介護保険サービス調整」をテーマに開催し、34名が参加しました。	・芝浦・台場・港南の各地区で開催される地域イベントにブースを出展し、区民に高齢者相談センターの周知を図ります。 ・台場地区を訪問可能な介護保険事業所の調査を継続して行います。	A	事業計画に基づき各事業を計画的に実施し、地域ケア会議や関係機関との連携を通じて地域課題の把握・共有を進めています。複雑化する課題にも専門職連携により対応し、包括的支援体制の推進につなげています。
2	介護予防ケアマネジメント	・総合事業・介護予防ケアプラン件数は3,043件（前年度2,879件）で、年々増加傾向にあります。件数増加に対応しつつ、適切なアセスメントに基づく支援を継続しました。 ・介護予防普及啓発事業を芝浦・港南・台場で開催し、43名が参加しました。3地区で実施し、地域偏在のない参加機会を確保しました。	・いきいきプラザ館独自事業調査を継続し、事業一覧表を更新します。 ・民間企業の協力を得て、男性高齢者が興味関心を持ちやすいテーマで介護予防普及啓発事業を開催します。	A	予防プラン3,000件超に対応しつつ、適切なアセスメントに基づく支援を継続しています。地域偏在にも配慮した事業展開を行い、関係機関と連携しながら段階的な介護予防支援体制の強化を図りました。
3	総合相談支援	・相談件数は18,178件（前年度17,297件）でした。 ・緊急支援対応事例数は31件で、緊急支援時には職員2名体制で訪問しました。安否確認ができない場合は、110番通報し、警察署や消防署と連携して迅速に対応しました。 ・認知症支援コーディネーターが、認知症に関する相談に対応しました。	・3職種が連携し、チームで高齢者の課題解決に向けた支援を継続します。 ・芝浦港南地区総合支所との連絡会やいきいきプラザ情報交換会等の開催を継続し、地域ネットワークの維持・再構築に努めます。	A	年間18,000件を超える相談に対応し、緊急時には関係機関と連携した迅速な支援を行いました。専門職連携を図り、安定した相談支援体制の確保と地域ネットワークの維持につなげています。
4	権利擁護業務	・虐待通報を14件受理し、芝浦港南地区総合支所と連携して措置入所2件に対応しました。 ・社会福祉協議会と連携し、成年後見申立を支援しました。 ・権利擁護講座を2回実施し、合計42名が参加しました。 ・東京都消費生活総合センターと連携し、クーリングオフを支援しました。	・高齢者虐待に適切に対応できるよう、研修を受講し、職員の資質向上に努めます。 ・虐待の予防・早期発見ができるよう、介護支援専門員や介護事業者を対象とした研修会を継続して開催します。	A	虐待対応や成年後見制度の利用支援について、関係機関と連携し適切に対応しました。講座等による普及啓発も継続的に実施し、予防と対応の両面から権利擁護体制の充実を進めました。
5	包括的・継続的ケアマネジメント	・地区内居宅介護支援事業所を訪問し、状況把握を行いました。 ・介護支援専門員向け研修会、事例検討会を2回開催しました。 ・芝浦港南地区居宅介護支援事業所勉強会「病院医療ソーシャルワーカーと介護支援専門員との交流会」を開催し、36名が参加しました。 ・各地区高齢者相談センター共催研修会を年4回実施しました。	・居宅介護支援事業所訪問による事例検討会を継続して開催します。 ・介護支援専門員向け勉強会・研修会を開催します。 ・各地区高齢者相談センター共催研修会を年3回開催します。	A	居宅介護支援事業所への訪問や研修・事例検討会を通じ、ケアマネジャー支援と多職種連携を推進しました。医療機関等との連携も強化し、地域における継続的な支援ネットワークの構築を進めています。
6	その他の事業	・子ども向け認知症予防普及啓発事業を、学童クラブで実施しました。 ・チームオレンジメンバーが立ち上げた「ふらっとオレンジスペース」の活動を支援しました。 ・毎月異なるテーマを設定し、かいごカフェ・オレンジカフェを開催しました。	・子ども向け認知症予防普及啓発事業を継続して開催します。 ・かいごカフェの参加者定着を目的に、参加スタンプカードを継続します。 ・介護者教室を兼ねたかいごカフェを年2回開催します。	S	認知症予防や介護予防の普及啓発を幅広く展開し、子ども向け事業やカフェ活動等を通じて地域特性に応じた取組を実施しました。多様な主体と連携し、参加促進と地域理解の向上を図りました。
7	運営体制	・緊急時・災害時マニュアルを適宜更新しました。 ・センター業務マニュアルは新たな項目を追加し、更新しました。 ・月1回、各職員に緊急連絡メールを送信し、送受信状況を確認しました。 ・職員が福祉総合窓口に出張し、勤務しました。	・センター業務マニュアルの更新をします。 ・福祉総合窓口での勤務について、引き続き整理が必要です。	A	マニュアル整備や緊急連絡体制の運用により、安定した運営体制を確保しています。会議や情報共有、研修を通じた取組により、職員の資質向上と組織的な連携・対応力の強化につなげました。
8	その他	・職員の急な退職により欠員期間（1.5か月）が生じましたが、職員が連携して対応したため、業務に支障はありませんでした。 ・所管課係員から依頼を受け、担当地域外に所在する企業でも認知症サポーター養成講座を実施しました。 ・虐待措置入所中の面会制限等、区ではじめて対応する事態が生じ、対応に苦慮しました。 ・病院退院後、暫定で介護保険サービスを利用する方が例年より多くみられました。			担当地域外企業へも講座を実施するなど柔軟な普及啓発に取り組みました。また、虐待対応や面会制限など新たな事例にも関係機関連携で対応し、退院後の暫定利用増加にも適切に対応しました。